



田空だより

なすの大地

第11号

2008年3月号（通巻第11号）
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 発行

今年度の取り組みと今後の課題

今年度の運営協議会としての取り組みについては、本紙第10号に掲載しましたが、主なものは下記のとおりです。

- 1 案内管理委員会の設立
- 2 那須野が原公園での写真展の開催
- 3 那須野が原ウォークの開催
- 4 地域マップとミニガイドブックの一部改訂

写真展やウォークなどは、より多くの人に那須野が原西部田園空間博物館の農村資源や自然景観（サテライト）を知ってもらうには有効な企画であったと思っています。

地域マップは、中央地区コミュニティが該当しており、地域の変貌が著しいところであるので、早急に対応した。

案内管理委員会については、開設したが利活用計画や賛助組織などが難渋していて今後の大きな課題といえる。

コミュニティ内のルートを散策する行事が各地区から報告されております。これは、地域住民の意識が高まってきている表れで、大変うれしく思っています。



狩野公民館での写真展のようす



那須野が原公園での写真展のようす

行事報告

19年度の主な活動です。

○行事等

- 7月20日 広報紙（第10号）発行
- 10月7日 第4回那須野が原ウォーク
- 10月20～21日 産業文化祭におけるサテライト写真展
- 11月3～4日 博物館フェスタ
- 1月23～30日 総合案内所における写真展
- 1月31日～2月11日 那須野が原公園における写真展



○会議

・総会

5月29日 総会

・役員会

- 5月22日 総会準備
- 7月3日 那須野が原ウォークについて
- 2月29日 20年度の計画について

・企画広報部会・整備部会

- 6月15日 広報紙、那須野が原ウォークについて
- 9月12日 那須野が原ウォーク、産業文化祭について
- 10月24日 地域マップ、広報紙について
- 12月9日 写真展について
- 1月24日 広報紙について

・案内管理委員会

8月23日 設立

・管理委員会

4月～9月 サテライト管理業務

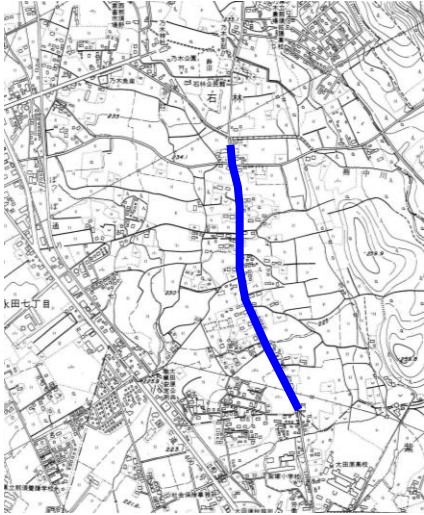


サテライト紹介 (第11号)

石林の臺沼用水玉石積水路

臺沼用水は江戸時代につくられた用水で、大田原城まで引かれていました。水路の保護のために地元の人たちが玉石を積み上げたりしました。現在でも道路の両端を流れています。

護岸には自然石を利用し、また、補強のためのコンクリート等の使用も最小限度にとどめているので、生態系に優しいつくりになっています。



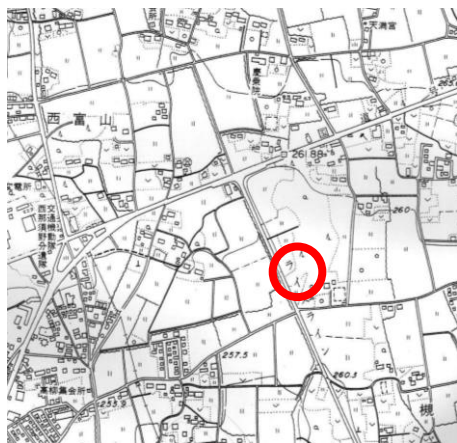
玉石積水路の位置（青色部分）

津室川湧水地

水の湧く泉をこのあたりでは「出釜」といいます。

津室川湧水地は遅沢にある出釜とは異なり、窪地ではなく管を埋め込んで、周囲の水を集めたものが林の中から湧き出しています。

春から秋にかけてたくさんの水が流れ、下流にある農地を潤しています。



位置(赤丸の部分)

中央地区コミュニティのマップが新しくなります

中央地区コミュニティセンター（西那須野公民館）が西那須野支所前から国道400号バイパス沿いに移転しました。これにより、出発点が変わったためサテライトの案内順路も変わりました。そのため、地域マップを改訂を行いました。



第4回那須野が原ウォークを開催

去る10月7日、那須野が原公園周辺において「那須野が原ウォーク」が開催されました。好天に恵まれ、参加者は全員心地よい汗を流すことができました。特に「サンサタワー」からの360度の展望は那須野が原の全景を見ることができ、改めて「田園空間博物館」の存在を確認できる機会になりました。

当日参加していた小学生（市立東小4年 鯉沼星瑛くん）の感想です。（原文のまま掲載）

那須野が原ウォークでは野草やきのこなどを見つけました。ぼくは今、学校で水の学習をしています。そ水の歴史なども教えてもらったので役にたちそうです。少しつかれたけど、いろいろと勉強できたのでうれしかったです。

↓ 那須疏水探訪の小径



↑ 赤田調整池